

2017（平成29）年度当初予算

■福山市関係分の主要施策

区分	施策	予算額	備考
地域振興	● 鞆地区の振興	10億1,703万円	・まちなかの交通対策工事 ・雁木復元等の工事、浸水対策に係る調査・設計 ・まちづくりへの寄附募集に係る情報発信
	● 離島航路運航への支援	2,115万円	・走島～鞆航路
	● 生活交通確保への支援	831万円	・福山市が自主運行するバス路線への補助
医療・福祉・環境	● 小児救急医療体制の確保	1,334万円	・2次救急医療の輪番制 福山市民病院、中国中央病院、日本鋼管福山病院、福山医療センターの4病院体制を支援
	● 看護師養成所の支援	4,111万円	・福山市医師会看護専門学校
	● がん対策の推進	1,800万円	・がん診療連携拠点病院である福山市民病院、中国中央病院、福山医療センターへの運営費補助
	● 障害児等療育支援	291万円	・療育支援施設への相談事業等の委託
	● 市町子育て支援・放課後児童クラブ事業	4億267万円	・市の事業への補助
	● 消費生活相談窓口の機能強化	559万円	・市の窓口機能強化事業への補助
	● 小型浄化槽設置整備	2,468万円	・市の浄化槽個人設置助成事業への補助
教育・文化	● その他 補助・助成事業	6,796万円	・保育対策、少子化対策支援事業等への補助・助成
	● 県立学校施設の整備	4億712万円	・大門～屋上防水工事、舗装改修工事 ・福山工業～屋上防水設計・工事、内外部改修設計 ・福山商業～屋上防水設計・工事、グラウンド改修工事 ・福山誠之館～崖地等安全対策設計、グラウンド改修設計 ・東～崖地等安全対策設計 ・福山葦陽～内外部改修工事 ・福山特別支援～空調設備更新工事、厨房等改修設計 ・戸手～囲障改修工事
商工	● 各種運営費 等	1億5,083万円	・歴史博物館、少年自然の家、文化財保存補助
	● 福山商工会議所への補助	498万円	・運営費及び事業補助
農林	● 観光振興	(6,000万円の 内数)	・市の観光事業への補助（事業実施額に応じ助成）
	● 公共事業（農林）	約7億5千万円	・ため池改修（熊野町、神辺町ほか） ・基盤整備（箕島町、神辺町） ・藻場造成（鞆町、内海町） ・山地治山事業（神村・津之郷・赤坂、沼隈、内海） ・保安林整備（津之郷町、本郷町、神辺町）
土木	● ひろしまの森づくり事業	1,540万円	・里山林の保全等に対する福山市への交付金
	● 公共事業（土木）	約52億7千万円	道路 ～国道182号、鞆松永線、新市七曲西城線、御幸松永線、国道313号、福山沼隈線など 河川 ～改修（瀬戸川、手城川ほか）、補修（手城川、小山田川ほか）、堰堤改良（四川ダム）、河川情報基盤緊急整備 砂防 ～急傾斜地対策等（横引、柳津、丹屋奥谷西川ほか） 海岸 ～海岸保全施設（一文字地区、機織地区） 港湾 ～港湾補修等（箕島地区、一文字地区、岩船地区） 街路 ～山手赤坂線 住宅 ～県営住宅外壁改修（駅家住宅） 漁港 ～漁港改修等（横田漁港、箱崎漁港ほか）

注 予算額、実施箇所は変動する可能性がある。

NPT運用検討会議における核軍縮・核不拡散のさらなる推進に向けた  
合意文書の採択を求める決議

人類史上最初の原子爆弾による未曾有の惨禍を体験した私たち広島県民は、昭和六十一年三月に議決した「核兵器廃絶に関する広島県宣言」を初め、あらゆる機会を通じて核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現を全世界の人々に強く訴え続けてきた。

しかしながら、世界には依然として、全ての生命を消滅させるのに十分な数の核兵器が存在し、核兵器の拡散・使用のリスクは地球規模で増大している状況の中で、核兵器の廃絶を実現するためには、我が国はもとより、世界各国の政治指導者による理解と努力が不可欠である。

こうした中、昨年四月に広島で開催されたG7外相会合では初めて、核軍縮・不拡散の分野に特化した「広島宣言」が発出され、五月には米国現職大統領として初めてオバマ大統領が広島を訪問するなど、世界の核兵器廃絶へ向けた機運が大きく高まった。

よって、本県議会は、このような流れを受けて、原子爆弾による「人間的生の全体的破壊」を最初に体験した広島県民の声を踏まえ、二〇二〇年に開催が予定されている核兵器不拡散条約（NPT）運用検討会議において、核軍縮、核不拡散がさらに進むような合意文書の採択を強く求める。

さらに、核兵器のない平和な国際社会の実現に向けて、引き続き活発な取り組みを行っていくことを宣言するとともに、世界の政治指導者たちが広島を訪問し、核兵器の非人道性を自身の目で確かめた上で、核兵器廃絶に向けた新たな一歩を踏み出すことを求めるものである。

以上、決議する。